KD0782　2026年9月

電子書籍

世界画報社（1946～1949・予約購読制となる25号）

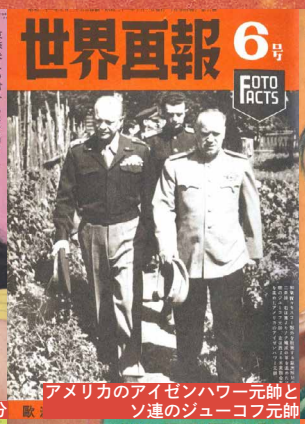
世界画報

復刻版

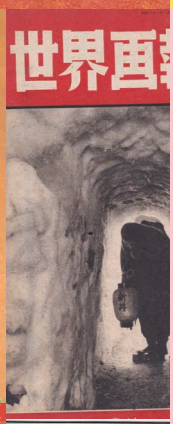
浮浪者の群れ、戦災孤児、見世物小屋の踊り子、上野の春婦…。
戦後の闇を鋭く写し出す。西園寺公一が放つ「大衆の啓蒙」雑誌。

ゾルゲ事件で有罪・廃嫡となった西園寺公一が、軍国主義を糾弾し、主体性の確立を目指したグラフ雑誌「世界画報」。自身の雑誌「グラフィック」（1936～1941・廃刊）を復活させたもの。



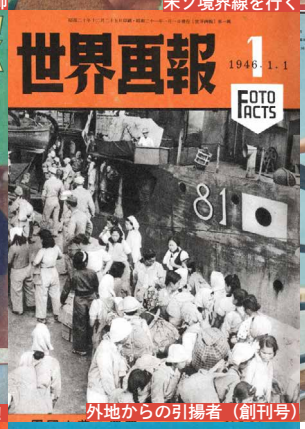




























蔵書状況と希少性：国際情報社発行の「世界画報」（1923～1992・国内外の多くの大学が所蔵）とは別の雑誌。国立国会図書館は紙・マイクロで所蔵も欠号が多い。

かかし

合同会社 かかし

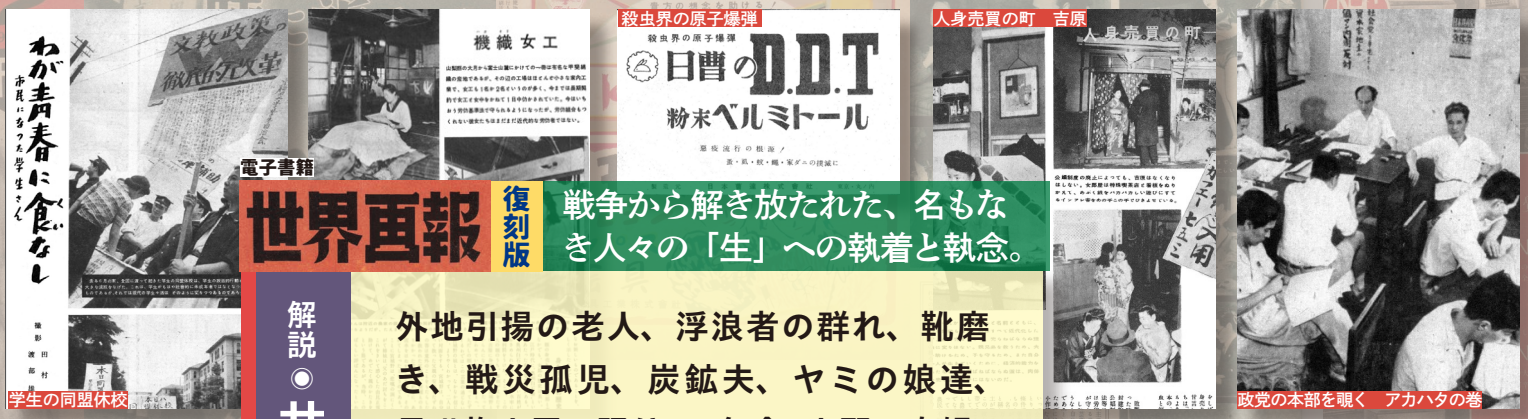
107-0062
東京都港区南青山 2-2-15
winAoyamaビル UCF6F
tel:03-6403-5803
contact@kakashi-ebook.co.jp

https://kakashi-ebook2024.net

プラットフォーム

KinoDen
Kinokuniya Digital Library

株式会社紀伊國屋書店　デジタル情報営業部
ict_ebook@kinokuniya.co.jp
〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10
電話 03-6910-0518



世界画報 復刻版

戦争から解き放たれた、名もなき人々の「生」への執着と執念。

解説◉井上祐子
公益財団法人政治経済研究所主任研究員

外地引揚の老人、浮浪者の群れ、靴磨き、戦災孤児、炭鉱夫、ヤミの娘達、見世物小屋の踊り子、乞食、上野の春婦、被差別部落の人々、人身売買、４百万人の失業者、大震災が生み出した生活不能の老人や不具廃病者、回虫や結核患者。メーデーや闇市に集う群衆、紙幣発行工場の女工、日本人捕虜…。**道徳も、倫理も、「社会」すら確立されていない時代。**大衆の抑圧されていたエネルギーの爆発。暗く沈みがちな事柄ばかりだが、地獄を見た者達が微かな光明を頼りに必死に蠢いている姿に目を奪われる。**汗、涙、泥に塗れ、体臭が臭いたつような写真、いまでは口に出すのも憚られる記事の数々。**けれども、そこに写し出された彼らの表情は、どこまでも明るい。

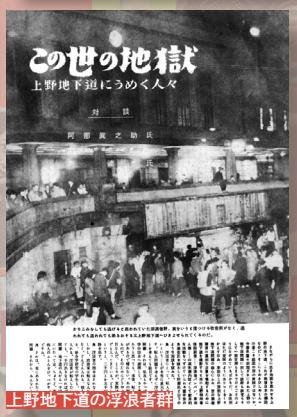




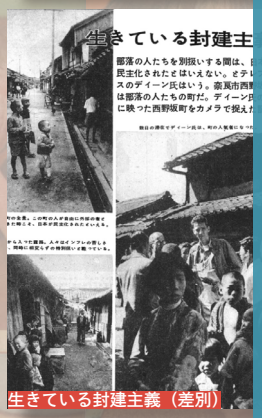


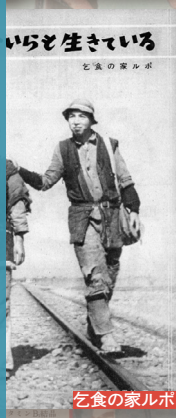






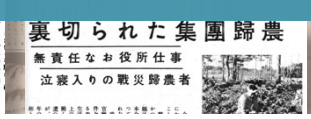
【特徴】
①雑誌の表紙や構成はアメリカ初の全ページ写真入りのニュース雑誌『LIFE（1936～2007）』を意識して作られ、思想・政治・外交を世界に伝えた。
②カメラマンをスタッフとして専属させ、撮影から記事・レイアウト等の編集のスタイルを一貫させた。
③田村茂、土門拳（写真家）、近藤日出造、横山泰三（漫画家）が誌面に名を連ねている。
④海外の読者も意識した作りであった。
⑤栄養失調の治病薬、病毒用の六〇六号と水銀剤、強ビタミンB1剤、生命保険、「殺虫剤の原子爆弾」等の過激な広告頁が紙面を飾る。
⑥「戦争の真実」を明らかにすることを目的とし、今では掲載不可の過激な写真も多く掲載されている。

















◉同時アクセス数３の価格　◉分売可（公式WEBを参照ください）

配信回数	掲載号	発行年月日	セット販売価格（税別）
全1回配信	1第1号～第4巻第25号	1946（昭和21）年1月1日～1949（昭和24）年8月1日	154,000円

※販売対象機関：全機関

関連書籍：2026 新刊「東日マガジン」/「サンデー毎日」「国際写真タイムス」

合同会社 かかし kakashi,inc